



▽雷別地区現地視察の様子

「生態系再生小委員会」を開催
令和7年9月29日に、第2回生態系小委員会が開催されました。今年度は、それぞれの事業地の現地視察、その後、釧路町公民館でオンラインを併用した会議を行いました。今回は、ヌマオロ地区（旧川復元箇所）、雷別地区（森林再生箇所）、達古武湖（湿原再生箇所）の現地視察を行いました。

当センターからは、雷別地区において、昨年度保護管を撤去した箇所の現況を報告しました。また、保護管撤去の適切な時期の検討について議論しました。



▽望楼の展望室での様子

その後の会議では、現在進められている釧路湿原自然再生全体構想見直しについての意見交換、現地視察を行わなかった事業に関する報告と意見交換が行われました。

秋のパイロットフォレストを散策
令和7年10月22日、パイロットフォレスト（厚岸町太田）で、今年度3回目の「雷別ドングリ倶楽部」を開催し、会員10名の参加により自然観察を行いました。

釧路市から北東に約50km、厚岸湖に注ぎ込む別寒辺牛川の上・中流域に位置する国有林のうち、昭和31年から大規模造成してきた



▽散策の様子

10、778haの森林を「パイロットフォレスト」と呼び、根釧西部森林管理署が管理経営しています。まず、パイロットフォレストを見渡すことのできる高さ24mの望楼に上りました。天気も良く、カラマツが色づき始めており、秋の景色を楽しんでもらえました。

その後、パイロットフォレストの林道を散策しました。職員から林小班や収穫調査、施業方法についての説明、カラマツやトドマツ等の樹木を観察して、散策を楽しみました。午後からは、パイロットフォレスト造成の歴史をまとめたDVDの



▽機械標本展示庫の見学の様子

視聴と機械標本展示庫の見学等を行いました。大規模な森林造成の過程に感銘を受けている様子でした。また、造成に使われた機械や当時の写真を興味深く見ている様子が印象的でした。

参加者の方々からは、「パイロットフォレストのことが勉強になった。」や「きれいな紅葉のタイミングは難しい。」等の声がありました。

今回は、標茶・真竜森林事務所からも応援いただき、詳しく紹介していただきました。雷別国有林とはまた違った森林を楽しむことができました。



▽丸太切りの様子

「秋の学校林活動」で木工！

令和7年10月27日、標茶町立中茶安別小中学校において、「秋の学校林活動」を、低学年・高学年グループに分かれて行いました。

低学年は小1～4年生17名を対象に「コースター作成」、高学年は、小5～中3年生13名を対象に「巣箱作成・設置」を行いました。

まず、全体にパワーポイントで循環する産業・林業という内容で講話を実施、その後、各グループに分かれて作業を体験してもらいました。

低学年グループは、シラカバの枝をノコギリで薄く切りサンドペー



▽巣箱設置の様子

パーでコースターに仕上げました。

当初は、イタヤカエデの枝も用意していましたが、堅すぎて薄く切るのは、難しかったようです。樹木の種類によって堅さが違うことを学んでもらえたと思います。

高学年は、センターで準備した巣箱キットを4班に分かれて、慣れない釘打ちを協力しながら組み立て、完成した巣箱を校庭にある樹木に設置しました。

終了後、生徒代表から、本日の活動支援のお礼の言葉と、「設置した巣箱に鳥たちが集まってくることを願っています。」と、頂きました。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。